OB對學生軍の排球模範試合

東西排球界の重鎮が會したのを機會に臺灣コートに於てOB對學生軍の排球模範試合が行はれた、メンバーはOB軍は極東オリムピツクの代表の坂上、鈴木氏に全日本の優秀選手、一方學生軍は全日本の早大木下、佐伯、同學の長谷川、[illegible]の上野君等の優秀選手で固め試合はOB軍の老巧地味なプレイに對し學生軍の猛烈な肉迫に結局四四對三九でOB軍に凱歌が擧つた【寫眞は前半OB軍（手前）の力戰】

本島武道界の最高峰を網羅

奉祝武道の番組決る

第十四回武德祭を兼ねた紀元二千六百年奉納武道大會は既報の如く三日午前九時より[illegible]武德殿にて本部派武道[illegible]に先立つて全島武道界の最高峰を網羅した奉納番組が左の如く發表された

弓道鳴弦之儀　敎士古山岩司郎　[illegible]

劍道の部

▲各種形

大森流居合術　[illegible]

直心影流薙刀術形　[illegible]

二天一流劍道形二刀　[illegible]

長谷川英信流居合術　[illegible]

劍道組合　敎士　甲田　[illegible]

大日本帝國劍道形　[illegible]

▲試合

初段及初段相當の部　四十九組

二段及二段相當の部　二十一組

三段の部　[illegible]

柔道の部

▲各種形

一、投ノ形　[illegible]

一、柔ノ形　[illegible]

一、古式ノ形　[illegible]

一、極の形　[illegible]

敎士の部　[illegible]

錬士五段の部　[illegible]

五段の部　[illegible]

四段の部　[illegible]

▲柔道試合

初段の部　二十三組

二段の部　三組

三段の部　[illegible]

四段及五段の部　[illegible]

錬士五段、六段模範試合　[illegible]

弓道の部

▲演武次第

一、古式卷藁前射禮

一、矢渡式

一、射禮　單獨射禮（錬士以上全員）

一、奉射（四ツ矢一回）全員

問題は打力の消長

宮本の進境で守備陣は完璧

六大學春の陣樣々 (2)

明治

實力を以て惡態に抵抗するのがこの春の明治だ、卒業の飛田とプロ轉向の清水、それに家臣の卒業で缺陷した野村の三選手が拔けても何等の痛手を感じない程春の明治は充實してゐる、練習開始の遲れた點ではあつたがその缺陷が苦戰した中央を一方的大差で蹴破した明治、前哨戰だけで斷定するのは早計に過ぎるが兎も角不安視された[illegible]打法も又昨秋失敗した新進選手間のきごちなさも今の陣容から受ける感じである、「[illegible]」たえず[illegible]の口からほとばしる叱咤である

宮本の進境に遊擊の不安を解消した守備の明治に殘る問題とはいはずも知れた強打法の消長である巨砲揃ひの明治の打者が痛快な巨砲を狙ふのは自然の成行きであるが大きく飛ばすためには、ライブのかかつた強打が必要なのだ、ところで巨砲だけでも隙が多いのに下から掬ひ上げる巧な打法では尚更その缺陷を增し自由打擊ではどしくオーバーヘンズの大物をかつ飛ばすのに、いざ試合となると隙をつかれてピツタリ鳴をひそめてしまふ、昨年の春秋兩シーズンの失敗は正にかういつた缺陷が暴露したのであつて[illegible]

明治の[illegible]この消長が延いては[illegible]ためにほかならない[illegible]（宮武は熊本縣士）

蒙疆にも體協誕生

我が體協に協力を希望

華北新民會體協の誕生に次いで昨年來蒙古聯合自治政府の下に於いてもスポーツ熱が勃興し張家口體協の結成機運が醸成されるに到つたので同政府ではこれに助成を與へて支援することとなり、來る四月下旬頃張家口の同政府民生部内に蒙疆體育協會の設立を見る段取となつた、右に就きこれが設立準備に當つてゐる民生部技師小川朝吉氏は先日の大日本體協理事會に出席、蒙疆地方の現狀を報告して日本側が同地方に關心を拂ふ樣希望し、蒙疆體協の成立後は新東亞スポーツ文化建設の一翼に加はる熱意を披瀝したので體協もこれに協力を約した、更に小川氏は支那新政府の成立に伴つて當然全地域を包含した新しい體育團體が新政府下に結成されるものと見られるのでこの場合に蒙疆地方を如何に取扱ふかに就いても日本側の愼重研究を要望したが日本としては特に今夏の東亞競技大會に蒙古相撲及び支那武術を公開競技として加へられ度いとの希望があつたのでその實現方を斡旋することとなつた

スポーツに依る民族融和を

小川蒙疆體協代表談　蒙古では在留邦人間に武道、野球、庭球、籠球、馬術等が行はれ、冬は河が氷結するのでスケートも盛んでこの外に蒙古相撲があります、夏は夜の九時迄明るく氣候も良いので運動には快適です、政府ではこのスポーツ熱を見て民族の協和と邦人の健康增進を目的に體協の結成に力をかす事になつたもので、その獎勵により蒙古人、支那人及回教徒が之に加はつて來るでせう、此意向にある時東亞競技大會に就き日本體協は支那側に對しては華北體協だけに交渉してゐるので我々の方は未だ相手にされてゐないから蒙古の現狀を報告して日本側の關心を求め今後の連絡のため出席した譯です、蒙古には未だ東亞大會に派遣出來るやうな選手は殆ど出來ないが二、三年後には必ずこの種の大會に派遣出來ませう、然し今年も蒙古相撲だけでもエキジビシヨンに參加させて見たいと思つてゐます

東亞大會を機會に

東洋體協總會開催

大日本體協では昭和九年新生したまま[illegible]となつてゐた東洋體協[illegible]オリムピツクの一[illegible]企劃してゐたがオリムピツクの[illegible]に伴ひこの度今夏の東亞競技大會に[illegible]東洋選手權大會の復活につき[illegible]、日本、滿洲國及びフイリツピン三ケ國が相會することを好機として、來る六月十日東京にて東洋體育協會總會を開催することとなり、[illegible]體協に對し東洋體協主事[illegible]の名を以て夫々招請狀を發送することとなつたが滿洲、比島共にこれに應ずるものと觀られてゐる、なほ同總會に提出する議題は

一、東洋選手權第一回大會開催の件

二、役員改選

三、規約改正

の三種が豫定されてゐるが、新支那の加盟問題も非公式乍ら必然的に話題に上るものとして成行が注目される

今、頼兩選手の日程一部變る

來臺中の今、頼兩選手の六日以後の日程は左の如く變更となつた

▲六日臺北學生コーチ、後一時（帝大醫學部）▲七日臺北社會人コーチ後一時（帝大文政學部）▲八日同上夜七時（同上）▲十日招聘卓球大會後六時（公會堂）▲十三日招聘卓球大會後一時半（板橋）▲十四日送別午餐會前一一時（未定）後二時女子コーチ（文政學部）▲十五日蓬萊丸にて離臺

尚右の通り十日夜公會堂に於ける試合の開始時刻は一時間繰上げの午後六時となつた

全國のどん尻

東京府體協やつと誕生

東京府民の體力向上と府内多數の體育團體の連絡統一を目差し今般東京府體育協會が設立されることになり丸ノ内會館でこれが發起人會が開催された、發起人は府學務部長酒井榮吉、大日本バスケツトボール協會長副島道正伯、東京武道有段者會南郷次郎、日本重量擧協會三島彌陽子、大日本排球協會平沼亮三、日本水上競技聯盟末弘嚴太郎、東京市[illegible]協古山利雄氏等の錚々たる顔觸れでこの誕生で全國各府縣を單位とする體育協會全部出揃つたことになるが

同協會では東京府に於ける體育團體の連絡統制、體育大會並に運動競技會の開催、講習會の開催、體育に關する調査研究指導獎勵表彰に關する[illegible]積極的に府民の體育振興に關する諸種の事業を行ふ事となり近く創立總會を開催しての誕生第一歩を踏み出すこととなつた

第二回武道振興委員會

第二回武道振興委員會は[illegible]平沼首相以下委員二十四名出席の下に開催、武道に關する根本方針の一般的な審議を行ひ、日本武道確立に關する興味ある論議がなされた、席上[illegible]委員から武道の本質に關する根本觀念の確立につき發言あり、武道は武術であり鍛錬の攻防手段であつて單なる心身鍛錬の手段ではないと云ふ意見を開陳、陸軍兵務局長石本委員から武道に於ける心身の鍛錬と國防との關係性を強調、陸軍として[illegible]を希望、これに關して[illegible]指導者の養成が急務である事を述べ、尚この外民間側として講道館長[illegible]委員より明治以來沈滯の路を辿つてゐた武道の振興には民間側の力が與つて力ある事を力説しこの際政府にあつても武道振興にあたつては獎勵と相俟つて體育教師の強化及び現在の各武道團體に對する積極的な援助を要望、統制に關しては十分研究を要望された旨の説明あり散會した

厚生大會の連絡委員會

[illegible]ニユージランド代表[illegible]中華民國代表の[illegible]參加に關する[illegible]外務、厚生[illegible]夫々折衝の上、これが實現を期することとなつた

臺日漢詩壇

選者　魏清德

己卯中秋觀月感賦　福岡　長岡文城

如水高空白玉盤。南樓發興[illegible]生。擧杯看。不知老我明年事。且作餘生樂後歡。

與杜詩明年此會誰健、同一感慨

天南迎杉溪六橋先生喜賦　屏東　松野翎川

[illegible]金風秋正闌。浩然載筆入臺灣。隨園老作才三絕。華胄承時五班。逸韻詩中[illegible]。天機畫裡説荊關。料知几案堆[illegible]紙。待寫雲煙海外山。

六橋先生遺品[illegible]高超、余曾於鐵道旅館見之、不愧鄭虔三絕之譽、天機逸韻四字的是確評、

扶搖鵬翼[illegible]如斤。[illegible]文。[illegible]。[illegible]詩[illegible]。[illegible]王蒙山水筆。岡南翰墨策功勳。

次韻雪漁先生七十自壽韻　高文淵

[illegible]節日。[illegible]方畹。

己卯瑣崖客中獲紫石　松竹梅端硯名之日　寄硯並賦七言詩一章　以刻其背　莊玉坡

[illegible]劫後[illegible]硯。入手摩[illegible]感慨頻。[illegible]如世變。他年畢竟屬何人。

先後放生元帥狸五隻有作

放金錢豹見口占

[illegible]狸名元帥出南州。屈伏籠中抱[illegible]。解脫危機間一髮。免遭刀俎與湯油。

詠所得資德金華[illegible]

[illegible]金錢豹子兒。爲貪口腹陷身危。而今縱汝回山去。弱肉休思再朵頤。

注[illegible]刻有玉堂清玩四字

玉堂清玩[illegible]誇。逸品疑從帝子家。七寶鑄成希代器。[illegible]斑古色燦金[illegible]。

迎年新世恭賦　黃一峯

鳳曆新頒[illegible]文更。[illegible]與遙拜[illegible]城。吹顏浩蕩春風暖。照眼氤氳瑞氣呈。但願一心新建設。重教萬家共存榮。止戈爲武君看取。海外王師[illegible]。

盆松

[illegible]

續 快男子 (22)

大島伯鶴口演

今村恒美畫

不思議な訪客

人間といふものは妙なもので、既にて悲しい場合には至つて涙が出ず、又、非常に嬉しい時には、言葉もない事があります、少年探偵の寺山和夫、かねて[illegible]はしてゐたものの、[illegible]に當つた[illegible]が名、その上に[illegible]中に[illegible]つた[illegible]から、[illegible]のおくらと[illegible]を取つた[illegible]の[illegible]め、すんでの事にピストルで射ち殺されやうとするところへ、いい塩梅に我乃の緒方幸一が飛び込んで來て、雪江のおくらを取つて押へ、やうやく生命は助かつたが、實にこれこそ本當の危機一髪、モウ一ト足緒方の來やうが遅かつたら、今時分はドウなつてゐるだらうと考へると、餘りの嬉しさから氣が拔けたやうになり、寺山はボンヤリとしてしまひました

緒方は悠々として[illegible]げましたが、和夫はボーツとして口も利けません。やがて立戻つた九段中坂寺山の家、

「オイどうしたい寺山、しつかりし給へ、イヤにぼんやりしてるぢやないか」

「ウム、イヤア然しどうも驚いたよ、どうせ心得て虎穴に向つたには相違ないが、何しろあまり、あゝいふ場合に出つくわした經驗がないから、正直なところ正に膝を濕したね、どうも今以つてまだ氣が落ちつかんよ、何か斯う夢を見てゐるやうな心持だ」

「ハツハツハ、さうだらうな、君としては無理もないよ、しかしマア危いところだつたが、[illegible]ひに怪我もなくて何より結構」

「イヤ有がたうヽ君のお蔭だ」

「どうだい、これで我輩の云つたことが嘘でもオマケでも無いといふことが分つたらう、だが寺山、何だぜまだヽこれ位ではなかヽ安心が出來ないぜ」

「エツ、まだかえ」

「ウム、まだどころか、これからだ、[illegible]もいふ通り、瀧川元信といふ奴は、なかヽの惡徒だ、どうしてヽ一[illegible]でゆく奴でない、一度や二度、手を焼いたからとて、それで後へ退いたり腰を折つたりするやうなそんな弱い男ではないから、覺悟すれば[illegible]する程、手を突へ品をかへて向つて來る、押しの強いのが彼奴の特徴、されはこれから彼奴がドウ出て來るか用心の上にも用心が肝要だぜ」

「イヤになるなア、それではマダこれからも度々今夜のやうに殺されかかる事があるのかネ」

「マアさう思つてゐればいいだらうた」

「ヤレヽ、堪らないなア」

「ハツハツハツ、然しマア緒方がついてゐるから大丈夫だ、とはいふものの、君自身もようく氣をつけ給へよ、何かあつたらスグ知らせてくれ、スグに僕は駈けつけて來るからネ、マアマア今夜はもうやすみ給へ」

「マア緒方君、待ち給へ一杯やらう」

「イヤそれはマア預けて置かうよ」

と、緒方幸一は、その儘麹町三番町の我家へ歸りました、夜更しをしたのだから、翌日の朝はゆつくりするかと思ふと、どうして緒方は存外早起き、どうも成功する人は大てい早起きのやうでございます、昔は朝起きは三文の徳があるといふ諺がある位のもの、緒方は早く起きると家を出て、一時間ばかり散歩をいたし、歸つてから朝の食事、それから二ツ四ツ取つてゐるその日の新聞に目を通す、それが日課になつてゐる、ズツと通讀してゐるところへ、

「先生ちよつと……」

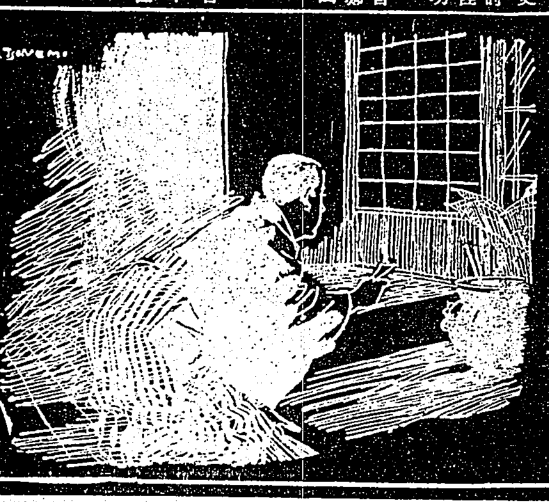
「オウ山形か、何か用か」

「先生、不思議な奴が來ました、イエ、昨晩お話のありました瀧川といふ奴が……」

「ホウ元信が來たか」

「ハイ、頗く立派な裝をして二人曳きの人力車で玄關へ乗りつけ、堂々たる態度なので、私は華族さまでもお越しかと丁寧に頭を下げた位です」

さすがに惡漢としての[illegible]の態度、いよいよ瀧川を相手に、緒方幸一の活躍に相成ります。



本社主催 日本棋院 五人拔敗退碁戰

○六段　關山利一　二目半出　先相先　●五段　藤澤庫之助

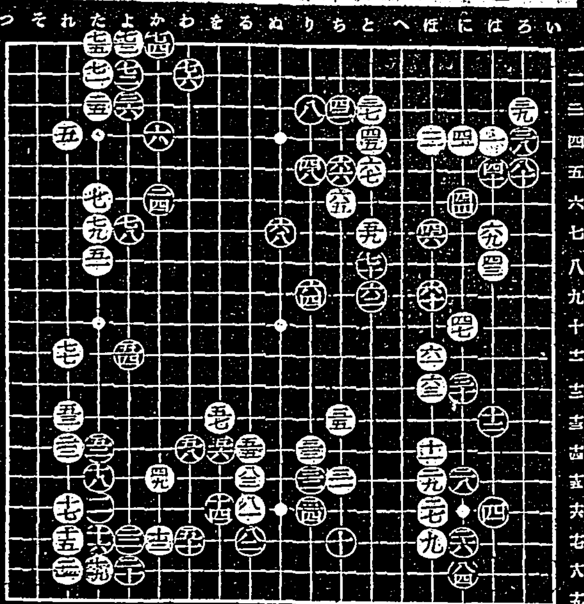
【第二局ノ十一】

藤澤氏一局勝二局目

持時間各十一時間一分以内切捨

消費時間　白七時間五十八分　黒四時間四十二分

○七七れ十一　●七八よ七　○七九た七　●八〇ろ五　○八一る十六　●八二ろ十七　○八三る十五　●八四に十八



い ろ は に ほ へ と ち り ぬ る を わ か よ た れ そ つ
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

本局の勝負處

重大時機に白不當の着手

評解　七段　瀨越憲作

◇左上隅で素早く先手四目稼いだ黒は七七とトンで左邊一帶を確保した、斯くして黒は左上隅から左下隅にかけて約四十目の確定地を得る事となつた

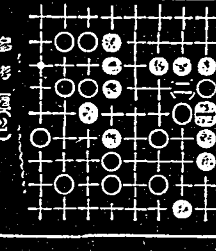
（評解）白八十のツギは前に述べた如く參考圖（1）の防ぎであり右上隅との關係上凡そ十五目位に當る大きな手ではあるが、之は八三に下邊を受けて置くべきであるさすれば[illegible]と雖も樂觀を許さぬ形勢である、黒から八一、八二と入られた場合に、下邊の白地が薄くなつた事は否めない

×

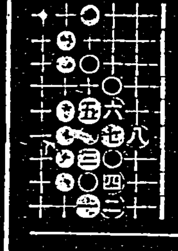
白八四に至つても「ぬノ十六」にツキアタつて受けてゐなければ不可ない、白として「ぬノ十六」に受け難くかつた意中は十分に推察出來る、それはさう打つ手が形が悪いのと、先きに八十を以て八三に受けるに比して明らかに悪くされてゐるからである、が、しかし此は「ぬノ十六」に[illegible]自重すべき處である

その代りに打たれた八四のサガリは「へノ十八」のツタリを見てゐるばかりでなく、參考圖（2）の用伏を未然に防いだのであるが――同圖中黒五、七は今直ぐは打たぬかも知れぬが、早晩かうなる處と見て大過ない――これ位の利かされは甘受せねばならぬ、兎に角白八十乃至八四、この邊が本局の勝負處である

◇以が八四で「ぬノ十六」に備へなかつた爲果然黒十三、四九の二子が白の地中に行動を起すこととなつた、黒は如何なる手段に依つて活動を開始したであらうか？



參考圖（1）



參考圖（2）

グンヽ強くー　育つ力を呼び起す、榮養あふれて、消化のよい最良粉乳！

森永ドライミルク

食事がまづい　便秘する……そんなときには酵母劑を

酵母劑はエビオス錠　優秀酵母の輸入難から種々の代用品が行はれる傾向がありますが、矢張り大麥を原料とし、その天然のビタミンB複合體を最濃厚に酵母自體に集積した眞正の釀造酵母に及び得ないことは昔も今も變らない事實です

弛緩して力を失つた胃腸などにビタミンB複合體を與へると、消化管の組織に活力を賦與してその新陳代謝機能を自力的に更生します

先づ食慾を恢復します。更にそれと併行し減酸貧血などの症狀が緩和されます

頑固な便秘癖や下痢を矯正して、毎日規則的な便通を得るに至ります。

食物の吸收同化が好變し、充分に血肉化されますから自然と榮養を高め得ます

酵母劑エビオス錠はビタミンB₁B₂……B₆などのあらゆるB複合體をよく調和された一定の天然比率で然も最高に含有する天然給源で消化劑や下劑などの對症劑に代り胃腸の弱い人はもちろん、仕事疲れで頑張りのきかない時…などにも賞用されて居ります。

馬越恭平博士創製

櫻谷農學博士監製

三〇〇錠…一圓六十錢　一〇〇〇錠…四圓八十錢　散末もあり

エビオス・アサヒ・サツポロ・ユニオン麥酒醸造元　大日本麥酒株式會社

東京市日本橋區本町二ノ丁目　株式會社　田邊元三郎商店

大阪市東區道修町三丁目　株式會社　田邊五兵衛商店

胃腸の弱い人に……エビオス錠

F EB 924